

五、わたしたちの食事は人間の食へる、食物ではありません市中で賣れない様な日本米と南きん米と麥の三方飯で到底、普通の人には食へない御飯です、又おかつは馬鈴しょと菜と「こんにやく」が一年中の副食物で十二時間働くわたしたちの身体にはとてもこの、食物ではこらへ切れません。

六、食事掛りの高垣貞雄と言ふ人は、元陸軍の曹長上りですが、初めのうちは正直に働いていましたが、二三ヶ月経つとだん／＼氣質が變つて来て、この頃では自分の家の米が無くなるに會社の米を盗んで職に運ばせませす、若しその運ぶ役を命令された人が服従しないと直ぐ首にします。これは米ばかりでない日用品を全部會社の物品を盗みます。殊に食事掛りをして居ますから、わたしたち女工を見るに色が、りでくごきます。若し従はないと食事を惜しみ少し、かくれません、従ふと一人に五人前も十人前もくれます。何れきがあるわたしたちの事ですから遂にまちがつた心を出しますが、こつ言ふ人たちが何人あるか知れません。

七、大日本紡績では今年も三割の配當をしています、わたしたちは奴隷でない人間です、味いものも食べたい美しい衣物も着たい清潔な家にも住みたい。勞う時間も短くしてもらいたいそれには個人／＼では駄目ですから、わたしたちは紡績組合に入會して、生活の改善と地位の向上を計らうと思ひます。若し東京大阪を通じ十一工場の諸君がわたしたちに賛成でしたら、不日本社に要求條件を提出しますから賛成して下さい。

大正十一年六月廿三日

西部紡績工組合

木津川支部員一同

大正十一年六月二十三日

西日本紡績組合大阪支所長 藤澤 穆

常務理事 添田 敬一郎 殿

西部紡績組合織関スル件

六月廿日午前五時三十分ヨリ南區難波久保吉町ニテ大日本紡績

工場通勤職ニ対シ同封ヒラテ散布シ組合組織ヲ宣傳

シ今午後六時北區福島ニテ大日本紡績福島工場同様散布

宣傳シ尙當日府下住吉村合同紡績支店ニ行ヘリ次テ同組

合設立主謀者小石川芳徳組合副會長安達和ハ世

協同會ニ反シテ